

平成22年度第2回 研究開発型ベンチャー技術開発助成事業 採択課題一覧

	事業者名	開始期間	事業名	事業概要
1	株式会社インテリジェントセンサーテクノロジー	H23.3～	味認識装置を用いた客観的な賞味期限の設定システムの開発	賞味期限設定時の「味」部分の科学的・合理的な設定を実現するために、味認識装置を用いた食品の味の経時変化の評価により客観的な賞味期限の設定システムの開発を実施する。この開発により、賞味期限切れで大量に廃棄されている食品ロスの削減に貢献でき、環境に配慮した食生活の実現ができることになる。
2	株式会社ジナリス	H23.3～	バイオプロセス法を用いた廃棄PET再資源化技術の開発	廃棄ポリエチレンテレフタレートを化学的に分解した後、テレフタル酸を粗精製する。化学品製造微生物を培養した発酵タンクにテレフタル酸を主成分とする粗精製物を投入することにより、高付加価値化学品に変換する技術を確立する。また高付加価値化学品である4種類のフェノール系化学品を製造する微生物を育種する。
3	株式会社サウスプロダクト	H23.3～	海洋藻類を用いたカロテノイド及び色素結合型タンパク質の大量生産技術の開発	希少カロテノイドおよび色素結合型タンパク質の生産を目的に、オキナワモズク盤状体培養法を応用した新規藻類の培養技術および培養藻体を原料とした抽出・分離精製技術を開発する。希少カロテノイドは医薬品や機能性食品等に、色素結合型タンパク質は色素増感型太陽電池等の次世代エネルギー生産に利用することができる。
4	株式会社SNT	H23.3～	光学レンズ用ナノコーティングスプレ装置の開発	従来方法のドライプロセスと同等の膜厚制御性を実現する独自のウェットナノコーティングの技術を用いて、光学レンズ用のコーティング装置開発を行う。光学レンズに利用できる鉛筆硬度6H以上、ヘイズ値0.2以下の光学用薄膜を作製可能な装置の開発により、コーティング工程の省エネルギー化が可能となる。
5	エイソンテクノロジー株式会社	H23.3～	高品位有機EL光源の開発	次世代光源として期待される有機EL光源の適用可能性を広め、普及を促進し、市場拡大につなげていくために、色相の角度依存性を抑制することが出来、且つ高生産性を有する拡散反射封止技術の開発を実施する。これにより高色温度で高演色性を有する高品位光源の製品化技術を確立することができる。
6	株式会社マイクロエミッション	H23.3～	液体電極プラズマを用いた元素濃度分析・管理システムの開発	環境水や、工場やプラントなどで用いる液体に含まれる元素濃度を連続的に測定するために、液体電極プラズマを用いた元素分析ユニットを開発し、濃度管理システムを構築する。濃度測定と管理が実現することで、水環境の安全安心に貢献できるし、製造業においては、希少資源の有効活用、品質向上、コスト削減に貢献できる。
7	株式会社イーディーピー	H23.3～	大型ダイヤモンドモザイク単結晶量産技術の開発	ダイヤモンドはデバイスから工具用素材までの様々な応用が期待されているが、デバイス研究用ウエハとして使用でき、既存工具市場適用できる安価を実現できるような大型単結晶製作技術が望まれている。既に実用化している10x10mmの単結晶を複数個組み合わせるモザイク結晶によって、大型とコスト低減を進めるべく、大型単結晶を製作技術を開発する。
8	プロメテック・ソフトウェア株式会社	H23.3～	次世代粒子法CAEソフトウェア開発	自由表面を伴う液体の挙動解析を安価で高速に解析することを実現するために、最新の並列計算技術であるGPUクラスターに対応した粒子法によるソフトウェア開発を実施する。これにより、ハイブリッド自動車・電気自動車設計やプロセス型製造業における攪拌・混練などの従来手法では解析困難な現象の解析が容易になることになる。